

2017年2月より新シリーズ刊行開始!

アジア仏教美術論集 【全12巻】

監修 宮治 昭・肥田路美・板倉聖哲

本体予価各 5,800 円+税

A5判上製カバー装 各巻平均 600 頁

**第一線の研究者らによるアジアの仏教美術研究の現在の到達点と
将来の課題を見通す待望の新シリーズ、堂々の刊行!**

本シリーズは、彫刻・絵画・工芸・建築などを含めた仏教美術が、アジア各地域・各時代においてどのような様相や特色を見せ、そこにいかなる問題が存在しているかを示すべく、地域・時代別に全12巻で構成する。様式論や図像学、年代論といった基礎的なアプローチはもとより、思想や信仰、社会や政治など、様々な分野と関わって生成、発展した様相を明かにすることを目指している。造形から何が読み解けるかという視点をもって、仏教学・考古学・歴史学・宗教学等と関連させながら、多様で豊潤なアジアの仏教美術に新たな光を当てていく。

各巻の論文は、国内の研究者のみならず、広く各国の第一線の研究者に執筆を依頼する。そこに見られる方法論の相違はまた、それぞれの国における研究の伝統と動向を映し出すものとなる。

本シリーズが、アジアの仏教美術に関する研究の現在の到達点を明らかにし、将来の可能性を拓く第一歩となれば幸いである。

(『アジア仏教美術論集』刊行にあたって)より抜粋)

第1回配本 (2017年2月)

中央アジア I (ガンダーラ~東西トルキスタン)

責任編集 宮治 昭

本体価格 5,800 円+税

A5判上製カバー装 本文 600 頁 ISBN 978-4-8055-1127-5 C3370



中央公論美術出版

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 1-10-1

IVYビル6F

Tel: 03-5577-4797 Fax: 03-5577-4798

お取り扱い

目次

総論 中央アジアの仏教美術 宮治 昭

I ガンダーラ

- ガンダーラ彫刻の制作時期について 内記 理
ガンダーラのグレコ・ローマ系海獣像の仏教的解釈 —仏塔階段側桁の三角形浮彫について— 田辺 理
ガンダーラにおける仏陀不表現の図像 小泉恵英
ガンダーラの仏塔円胴部にみられる伝記的仏伝表現 —奈良国立博物館所蔵仏伝図浮彫群を中心に— 上枝いづみ
トルクメニスタン・メルヴ出土説話集 辛嶋静志

II アフガニスタン・西トルキスタン

- 城壁で囲まれた聖域 —アフガニスタンの宗教的造形に現れるイマ神話— アンナ・フィリジェンチ (上枝いづみ 訳)
サーサーン朝からフンへ —ヒンドゥークシュ南北で発見された新出貨幣資料— ミヒヤエル・アルラム (宮本亮一 訳)
バーミヤーン東方伽藍の調査成果 —タルズィー隊による新たな発掘— ゼマルヤライ・タルズィー (岩井俊平 訳)
バクトリアの葬送文化と信仰 岩井俊平
ソグド人の美術に見られるインド美術の影響について 影山悦子

III 中国新疆

- クチャの仏教説話美術に関する近年の研究状況について モニカ・ジン (檜山智美 訳)
キジル第二〇七窟 (画家窟) の仏説法図の新解釈 檜山智美
キジル石窟ヴォールト天井壁画における天空の表現 —「天象図」中の日月および風神の図像について— 井上 豪
西域北道における誓願図について 森 美智代
コータンのドモコ・トブルクトン第一号寺壁画について —果たして新出の毘沙門天か— エリカ・フォルテ (福山泰子 訳)

IV 中央アジアの交流

- 「禅定窟」再考 —インド・中央アジアから敦煌にいたる「ヴィハーラ」窟の展開— 山部能宜
敦煌将来絹本瑞像図に描かれたガンダーラ、コータン由来の仏像 肥田路美
ベゼクリク石窟供養比丘図再考 —敦煌莫高窟の銘文を手がかりとして— 橘堂晃一
トルファンおよび中国江南のマニ教絵画について —マニの描いた「絵図」を視野に— 吉田 豊

あとがき

執筆者・翻訳者一覧

全 12 巻 (年 2 回配本予定)

責任編集		責任編集	
南アジア I (マウリヤ朝～グプタ朝)	宮治 昭・福山泰子	東アジア I (後漢・三国・南北朝)	濱田瑞美
南アジア II (ポスト・グプタ朝～パーラ朝)	立川武蔵・森 雅秀	東アジア III (五代・北宋・遼・西夏)	板倉聖哲・塚本鷹充
中央アジア I (ガンダーラ～東西トルキスタン)	宮治 昭	東アジア IV (南宋・大理・金)	板倉聖哲
中央アジア II (チベット)	森 雅秀	東アジア V (元・明・清)	宮崎法子・森 雅秀
東南アジア	肥塚 隆	東アジア VI (朝鮮半島)	井手誠之輔・朴 亨國
東アジア II (隋・唐)	肥田路美	東アジア VII (アジアの中の日本)	宮治 昭・肥田路美・板倉聖哲